

1. リスニングテストの IC プレーヤーを改良！

2. 「過去問の出典」「教科書の掲載文」等からの出題も可能に！

旺文社 教育情報センター 21年7月

大学入試センターは、22年1月16日(土)・17日(日)〈本試〉に実施する22年度センター試験で使用する英語リスニングテストのICプレーヤーについて、従来のものより改良した機器を使用するとしている。

また、各教科・科目の出題については、過去問の出典や教科書の掲載文からの出題もあり得るとしている。さらに、一部の大学・学部では、センター試験の過去3年前までの成績を当該年度の入学者選抜に利用するようになる。

以下に、ICプレーヤーの主な改善・変更点(イメージ図)と、過去問の出典等からの出題についてまとめた。

1. ICプレーヤーの改善・変更

22年度に使用する英語リスニングテストのICプレーヤーの主な改善・変更点は、次のとおりである。

- ① 本体の形状が、従来の縦長(長方形)から、正方形に変更。「電源」「確認」「再生」の各押しボタンの位置が変わる。「再生ボタン」を丸形の凸型に変更。
- ② 安定性の向上のために、本体の裏面に滑り止めを追加。
- ③ 「音声メモリー」(従来の横長より幅広)の挿入方法を、“プッシュイン/プッシュアウト方式”(カチッと音がするまで差し込む方法)に変更。
- ④ 「電源ランプ」と「作動中ランプ」の輝度を向上。電池をアルカリ電池に変更。

* 各ボタンの操作方法は、21年度使用のICプレーヤーと変更はない。

* 試験終了後のICプレーヤー等の取扱い

これまで、ICプレーヤー、イヤホン及び音声メモリーは、試験終了後、問題冊子とともに持ち帰ることができた。

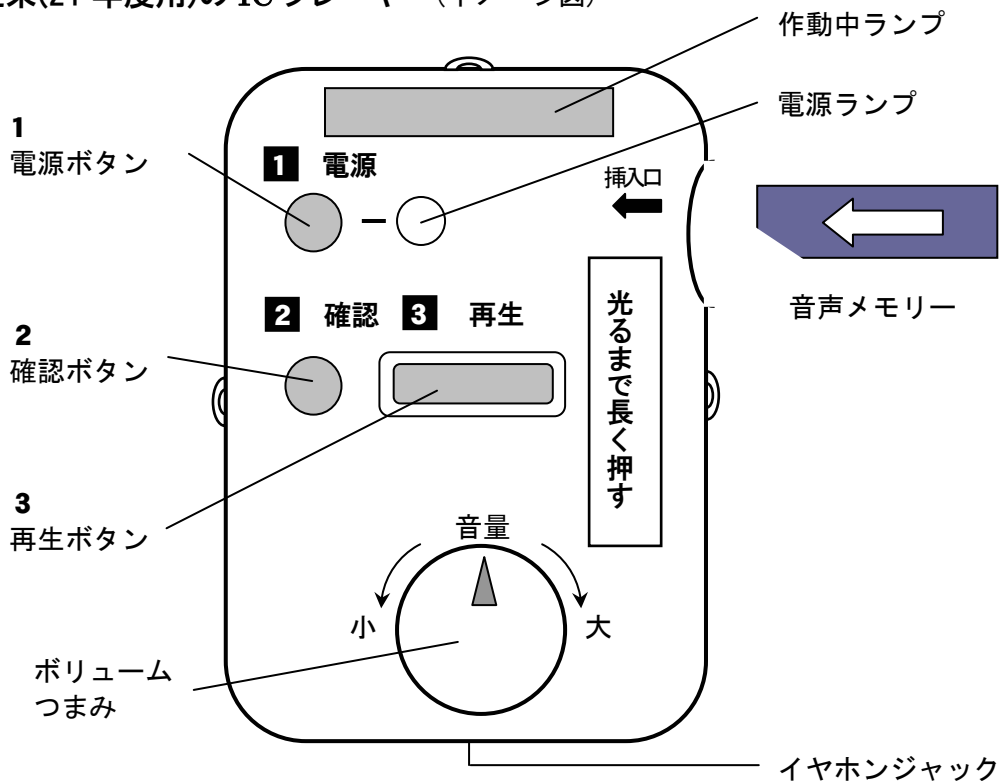
しかし、22年度は、ICプレーヤー及び音声メモリーは試験終了後回収される。問題冊子の持ち帰りは可能。

* イヤホン不適合措置について

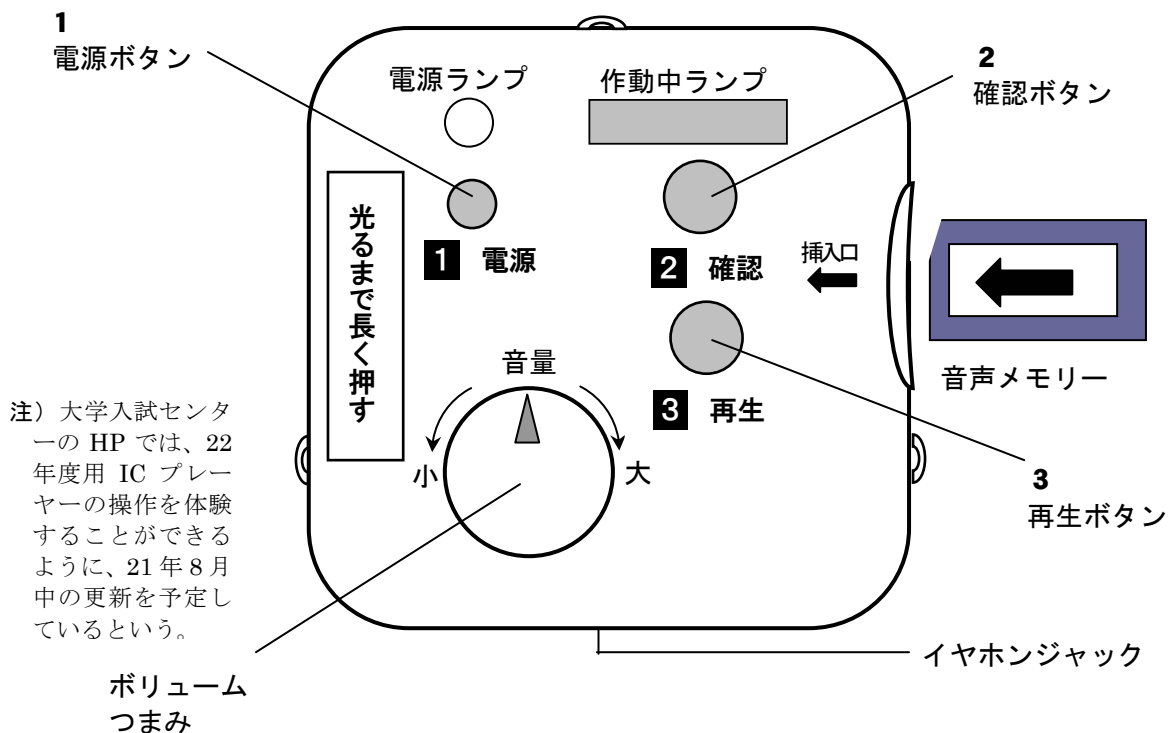
イヤホンが耳の形に合わないなどの「イヤホン不適合措置」の申請方法が、21年度と異なる。(詳細は22年度用センター試験『受験案内』(21年9月1日以降配付)、大学入試センターHPを参照)

☆ 次ページに21年度と22年度改良型「ICプレーヤー」(イメージ図)を掲載 ☆

●従来(21年度用)のICプレーヤー(イメージ図)



●22年度用のICプレーヤー(イメージ図)



注) 大学入試センターのHPでは、22年度用ICプレーヤーの操作を体験することができるように、21年8月中の更新を予定しているという。

2. 「過去問」の出典使用

大学入試センターは20年8月、センター試験の素材文の取り扱いについて、次のように「過去問」の出典等からの出題もあり得ることを表明している。

- 引き続き良質な問題を作成する観点から、22年度センター試験から、過去のセンター試験や大学の個別学力検査で使用された素材文及び教科書に掲載された文章であっても、高等学校における基礎的学習の達成度を測定する上で適切なものであれば、素材文として使用することもあり得る。

<「過去問」の出典等使用の背景>

今回打ち出された「過去問」の出典等使用に関する改善策には、次のような背景があろう。

- **中教審等の提言**：入試における、所謂「過去問活用」については、11年12月の中教審答申『初等中等教育と高等教育との接続の改善について』及び旧・大学審答申『大学入試の改善について』において、大学入試の改善策のひとつとして、個別試験やセンター試験での過去問や類似問題の出題を認める提言が出されていた。
- **セ試問題の素材文に限界**：大学入試センターではこれまで、過去のセンター試験や大学の入試問題で使用された素材文や教科書の掲載文については、センター試験の素材として使用してこなかったという。しかし、試験問題に適した素材文には限りがあり、毎年、膨大な入試問題が作成されていることから、これらとの重複を避けつつ、良質な試験問題を作成することは年々困難になってきているという。
- **セ試の「調査書」的な役割**：センター試験は、高等学校段階における基礎的な学習の達成度を測ることを目的とした試験である。そして、その利用の仕方によって、高等学校における学習成果を知る上での“資料(=調査書)”としての役割(学力把握機能)と、各大学での入学者選抜に資する“試験(=選抜試験)”としての役割(選抜機能)を担う。センター試験の利用方法は各大学・学部委ねられており、ほとんどは“選抜試験”(選抜機能)として利用している。

他方、高大接続の重要性が指摘されている折、センター試験を高等学校における学習成果を知る上での「調査書」的な側面(学力把握機能)としてとらえようとする動きが出ている。

センター試験の「過去問」出典等の使用については、こうしたセンター試験の「学力把握機能」の側面をより強く打ち出した国立大学協会の提起(『平成22年度以降の国立大学の入学者選抜制度－国立大学協会の基本方針－』：19年11月)、つまり“絶対的公平性”にとられない標準的良問の出題」要請につながるものといえる。

<「過去問」出典等の出題>

センター試験における「過去問」出典等の出題教科・科目としては、まず「国語」や「外国語」の問題文(題材)が一般的に想定される。

しかし、日本史・世界史の史料や地理の統計・資料、地形図、あるいは「理科」の資料(図)、実験・観察データなどまで広がる可能性もある。